

国立大学法人京都工芸繊維大学特定再雇用職員就業規則の一部改正について

新 旧 対 照 表

_____は改正箇所を示す。

現 行 条 文				改 正 後			
第1条から第8条まで（略）				第1条から第8条まで（略）			
（基本給）				（基本給）			
第9条 特定再雇用職員の基本給の級は、当該職員の勤務内容等に応じて定めるものとする。				第9条 特定再雇用職員の基本給の級は、当該職員の勤務内容等に応じて定めるものとする。			
2 基本給の月額は、次の表に掲げるとおりとする。				2 基本給の月額は、次の表に掲げるとおりとする。			
職種	級	基本給の月額		職種	級	基本給の月額	
		フルタイム型職員	パートタイム型職員			フルタイム型職員	パートタイム型職員
事務職員、 技術職員	1	円 214,000	円 171,200	事務職員、 技術職員	1	円 214,400	円 171,500
	2	254,000	203,200		2	254,400	203,500
	3	273,400	218,700		3	273,800	219,000
	4	288,500	230,800		4	288,900	231,100
	5	313,900	251,100		5	314,300	251,400
	6	355,600	284,400		6	356,000	284,800
看護師	1	254,200	203,300	看護師	1	254,600	203,600
	2	261,400	209,100		2	261,800	209,400
3 （略）				3 （略）			
（諸手当）				（諸手当）			
第10条 諸手当の額等は、国立大学法人京都工芸繊維大学職員給与規則（平成16年4月1日制定。以下「給与規則」という。）第19条、第20条、第23条、第26条、第28条、第29条、第30条、第31条、第32条の2、第32条の3及び第32条の5に定めるところによる。ただし、期末手当及び勤勉手当の額は、次表に掲げるとおりとする。				第10条 諸手当の額等は、国立大学法人京都工芸繊維大学職員給与規則（平成16年4月1日制定。以下「給与規則」という。）第19条、第20条、第23条、第26条、第28条、第29条、第30条、第31条、第32条の2、第32条の3及び第32条の5に定めるところによる。ただし、期末手当及び勤勉手当の額は、次表に掲げるとおりとする。			

期末手当		勤勉手当
6月期	基本給の月額に、100分の65を乗じて得た額	基本給の月額に、100分の <u>37.5</u> を乗じて得た額
12月期	基本給の月額に、100分の82を乗じて得た額	

第11条から第13条まで（略）

（休日）

第14条 土曜日及び日曜日は、休日とする。

2 前項の規定にかかわらず、前条第3項の規定により勤務日を定める場合は、他の曜日を休日とすることがある。

3 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）の定める国民の祝日及び12月29日から翌年の1月3日までは、休日とする。ただし、業務上の都合により、これらの日を勤務日とすることがある。

第15条から第19条まで（略）

附 則（略）

期末手当		勤勉手当
6月期	基本給の月額に、100分の65を乗じて得た額	基本給の月額に、100分の <u>40</u> を乗じて得た額
12月期	基本給の月額に、100分の82を乗じて得た額	

第11条から第13条まで（略）

（休日）

第14条 土曜日及び日曜日は、休日とする。

2 前項の規定にかかわらず、前条第3項の規定により勤務日を定める場合は、他の曜日を休日とすることがある。

3 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）の定める国民の祝日、12月29日から翌年の1月3日まで及び8月16日は、休日とする。ただし、業務上の都合により、これらの日を勤務日とすることがある。

第15条から第19条まで（略）

附 則（略）

附 則

1 この規則は、平成 年 月 日から施行し、平成28年4月1日から適用する。ただし、第14条第3項の改正規定は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成28年6月に支給する勤勉手当に関する第10条の規定の適用については、同条に定める表中「100分の40」とあるのは「100分の37.5」とし、平成28年12月に支給する勤勉手当に関する第10条の規定の適用については、同条に定める表中「100分の40」とあるのは「100分の42.5」とする。